

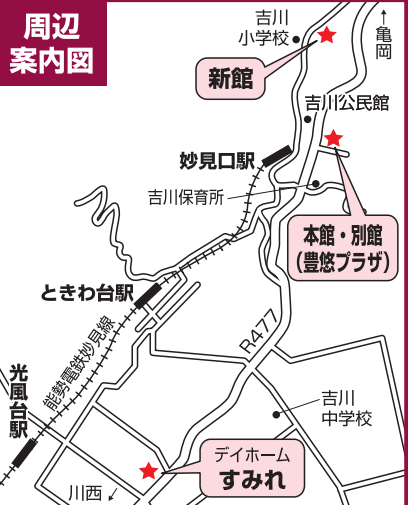


第75号
発行：平成29年7月1日

社会福祉法人 豊悠福祉会
祥雲館
SHOUKAN

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301(代表)
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



東ときわ台地域交流スペース 整備事業計画始動!!

このたび、祥雲館では、東ときわ台地区に新規事業開設用地の確保が整い、来年秋ごろの開設を目指し、新規事業を計画しています。

今回の新規事業計画では、「高齢者の方の住宅確保」「障がい者の方の住宅確保」「地域交流」という3つの視点で臨もうと考えております。

高齢者の方の住宅確保

祥雲館では、平成24年より「高齢者の住まい」に着目しており、地域住民の皆様と「笑雲カフェ」を通し「高齢者住宅開発プロジェクト」を起ち上げ、住み替えが可能な「サービス付き高齢者向け住宅」の開設を検討し、メンバー全員での候補地の視察など、具体的に開設を検討してきました。諸々の事情から用地確保が難航し、今日まで具体化することができませんでしたが、このたびの事業用地確保で実現に一步近づいたと感じています。



〈外観イメージ図〉
東ときわ台中央公園西側の土地に建設予定

障がい者の方の住まいの確保

障がい者の方の住まいもまた大きな課題です。ご家族の高齢化、ご本人の高齢化、独居生活を送っておられる方など、これからの住まい、暮らしについて新たな不安も感じずにはいられません。

一人暮らしでは不安でも、グループホーム等で必要な支援があれば、その方らしい地域での暮らしが実現でき、安心できる住まいがあるからこそ、安定した就労が可能になり、町を支える力とも成り得る。

地域交流

福祉を育てるための町づくり

人となりのつながりが、福祉の始まりです。祥雲館は、このつながりをとても大切に考えています。訪問看護ステーション、地域交流スペースを設け、祥雲館は福祉を通して、地域に貢献していきたいと考えています。

訪問看護ステーションは、地域の安心の場として保健サービスを提供します。ご自宅での療養のことや、健康についての気がかり、介護の中で生じる不安、子育て中のお悩みなど、何でも気軽に相談できる場所です。専門職が常駐し、親身に対応します。ホームホスピスを併設し、重度な患者様への対応を、看取りまで総合的なケアとしてご提供し、住み慣れた地域で、我が家のように最期まで自分らしく生きる暮らしをサポートします。

更に、地域の生活・健康拠点となる地域交流スペースを設け、健康料理教室、介護食等の試食会、赤ちゃんのお世話「今・昔」といった、健康・医療・看護・介護・子育て等に関するイベント等の開催を、地域の皆様と協働で提案したいと考えます。地域の皆様の健康の維持・増進、多様な世代の交流促進が図れればと思うところです。

住み慣れたまちで暮らし続けたい

新規事業の起ち上げにつきましては、セキュリティ、設備面など万全を期し、万一の騒音の発生や徘徊防止等、近隣の住民の方へご迷惑をかけないよう対策をとることはもとより、住宅環境に大きな影響を及ぼさないよう、十分留意してまいります。

「住み慣れたこの豊能町で暮らし続けたい……」その思いは、大人も子供も、高齢者も障がい者も皆同じではないでしょうか。同じ思いを持つ者同士、一緒にこの思いを育てていきたいと切に願っております。

第13回 祥雲館町おこしプラザ

森のカーニバル2017～とよのんと遊ぼう～



今年も「とよのん」が豊悠プラザにやってきます！「森のカーニバル2017」を9月3日に開催します。前回好評だった「ウォーターイベント」（水あそび）も開催予定です。子どもも大人も一緒にしゃべりましょう!! また、飲食店の出店や、豊悠マルシェ・新鮮野菜販売など、豊悠プラザで楽しい1日を過ごしませんか。

【日時】平成29年9月3日(日)、10時～15時
【場所】豊悠福祉会本館1階 豊能町吉川187-1
【主な内容】とよのんと遊ぼう、子どもダンス、太鼓演奏、ウォーターイベント（水あそび）予定
【協力・出店】COCO 壱番屋、豊能町新鮮野菜販売ほか、地元の美味しいものが集合します。
【お問合せ】祥雲館町おこしプラザ事務局 ☎072-733-2301

※詳しくは、イベントチラシをご覧ください。

主催：豊悠福祉会 後援：豊能町 協力：豊能町農林商工課 豊能町教育委員会 豊能町社会福祉協議会 吉川自治会

森のマーケット2017 開催協力のお礼

5月21日 開催させていただきました森のマーケットでは、来場者約600名とたくさんの方に来ていただき、楽しく無事に終えることができました。事前準備から開催当日までお手伝いいただいたボランティア及び関係各位の皆様へ心より御礼を申し上げます。



第30回 「豊悠福祉会の これからの取り組み」について

平成22年1月からスタートしました「笑雲Café」も、今回で第30回目を迎えることになりました。

記念すべき節目となる今回、これからの豊悠福祉会のビジョンや、東ときわ台地区での新たな取り組みについてお話しさせていただきます。



【日時】平成29年7月29日(土) 10時～12時
【場所】吉川自治会館2階（軽運動室）
【会費】200円（茶菓子代として）
【語り手】豊悠福祉会 井口仁、園田裕紹

お申込みは、祥雲館 TEL：072-733-2302まで
準備の都合上、7月21日(金)までにお申し込みください。

7月・10月の予定

【介護講習会】毎月第2月曜 10時～12時

開催日：7月10日(月)、8月7日(月)、9月11日(月)、10月9日(月)

場 所：豊悠福祉会本館2階豊悠ホール（吉川187-1）

対 象：どなたでも参加OK

内 容：要介護者に対する介助方法、福祉・介護のお悩み事相談、情報交換
参加費：200円（お茶菓子代）

問合せ：☎072-733-2301

※祥雲館の介護スタッフ、ケアマネジャーと一緒に車イスの操作など楽しく体験しませんか。気軽にお問合せください。

【笑雲café】7月29日(土) 10時～12時

場 所：吉川自治会館2階（詳細は表面参照ください）

【祥雲館町おこしプラザ 森のカーニバル】9月3日(日) 10時～15時

場 所：豊悠福祉会本館1階（詳細は表面参照ください）

ボランティア募集

祥雲館では、こんなボランティアさんをお待ちしております

入所されている利用者さんの食事（昼・夕）のお手伝いをしていただける方。活動時間は相談させていただきます。詳しくは、下記までご連絡をお願いします。



※右上写真、4月からボランティア登録をしていただいたSさん。デイサービスみずほのレクリエーションの時間、活動していただいています。

問合せ先：豊悠福祉会 ☎072-733-2301（担当：滝本）
メール vol@syownkan.jp

TOPICS

★お雛様（H29.2.20）

箕面森町のとどろみの森クラブの木工チームの方より手づくりのお雛様をいただきました。一つ一つ細やかに作られていて、素敵なお雛様たちです。



★相撲力士見てきました（H29.3.13）

能勢町のともがきさんにご招待いただき、友綱部屋の相撲力士との交流会に行きました。ゲーム大会や餅つき、握手と写真撮影、ちゃんこ鍋の振るまいと盛りだくさんの内容に利用者さんも大満足。ともがきさんお誘いありがとうございました。



★グループホーム祥雲館 食事づくり（H29.5.6）

5月から、毎月1日の食事（朝・昼・夕）を、利用者さんと一緒に作ってます。自分たちで全て作るのは大変ですが、利用者さんも昔を思い出しながら楽しく作っています。まずは、月1回、続けていけるように取り組んでいきます。



★第50回豊能町ソフトボール大会準優勝（H29.5.14）

豊能町ソフトボール大会に祥雲館ソフトボール部が参加しました。全部で8チーム参加し、1回戦は勝ち、準決勝（キンブレ戦）では、最終回逆転サヨナラで14対13で勝利し、決勝戦（ときわ台戦）では8対16で惜しくも敗れてしまいましたが、見事な準優勝でした。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

次号は、平成29年9月25日～30日配布予定です。

「働きたい」をかなえる

「障がい福祉サービス事業所ひまわり」

ひまわりは、当法人初の障がい福祉サービスとしてスタートし、今年で4年目を迎えました。現在では、生活介護20名、就労継続支援B型15名の合計35名定員へと拡大し、『活動や経験、働くことを通して地域での豊かな暮らしの実現』を使命とし活動しています。私たちは、高齢者施設の洗濯業務を生産活動の主として取り組んでいます。その他に、自主製品（マカロニケース、とよのんキーホルダー等）の制作や販売活動、地域イベントにも参加しています。



ひまわりに通所されている利用者様の声です

- ・忙しいけれど、毎日が充実しています。
- ・自分のことを理解してくれているので、安心して利用できています。
- ・役割があるので頑張れます！

ます。ここに通所されている利用者様は、このような活動を通じて、働くことの喜びが働きたいに繋がり、他者との関わる機会や給料（工賃）を得ることにより、社会の中で暮らしていくことを実感しています。これからも、一人一人に寄り添い、共に成長できる事業所でありたいです。

委員会活動紹介③

褥瘡対策委員会

委員会の目標は褥瘡（床ずれ）をゼロにすることです。主な活動は「褥瘡のある方の状況を把握する」「委員会メンバーから各部署に褥瘡のことを知ってもらうように発信する」などです。褥瘡をゼロにするにはどうしたらいいのかと日々考えています。職員が利用者様と同じ気持ちに立つことも大切だと考え、実際に研修を行い普段体験しないことを知ってもらうことで職員の意識改革に繋がっています。

今後褥瘡ゼロに向けて様々なことを考え取り組んでいき、少しでも利用者様の安心に繋げて活動していきます。



たくさんのご寄附を賜りありがとうございました

平成28年度ご寄附一覧

- ・手芸用品一式（T.T様）・電動足こぎ（ルームマーチ）他（S.Y様）
- ・介護用品・車椅子、車いす用クッション、タンス・介護用品（消耗品）
- ・ソファベッド・介護用ベッド（中古）・肌着

編集後記

今回で笑雲75号の発行となりました。
平成12年1月に第1号

広報誌「SMILE」の発行から約19年間、祥雲館の想いや取組を発信してきました。私が笑雲発行に携わって5年になりますが、地域の方から「笑雲を楽しみにしてるよ」などのお言葉をいただける嬉し、次号発行の励みになります。これからも皆様の近くに、いつでも祥雲館があるような存在になれるよう、広報していきたいです。

広報担当 滝本